

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 220-0022

住 所 横浜市西区花咲町7丁目150番地

氏 名 株式会社トヨタレンタリース横浜

代表取締役 松浦 良彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社トヨタレンタリース横浜		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区貝塚1-1-3		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	70	物品賃貸業
主たる事業 の内容	自動車のレンタル		
事業者の規模	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		kl
	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車の台数	341	台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ～ 2021 年度 (報告年度 2020 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

2 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第3号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(年度)	
排出量 (t-CO ₂)	(実) 897	(実) 777	(実) 725	(実)	(実) 920
	(調) 897	(調) 777	(調) 725	(調)	(調) 920
削減率		(実) 13.4 %	(実) 19.2 %	(実) %	(実) -2.6 %
		(調) 13.4 %	(調) 19.2 %	(調) %	(調) -2.6 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位の活動量	総走行距離				原単位等の単位	t-CO ₂ /1000km
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(年度)		
排出量原単位等の値	0.1379	0.1353	0.1266		0.1310	
活動量の値	6502.846	5733.824	5724		-	
排出量原単位等の削減率		1.9 %	8.2 %	%	5.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	<p>○排出量：川崎市内におけるレンタカーの台数走行距離が減った結果、温室効果ガスの排出量も減少となった。</p> <p>○排出量原単位：乗用自動車の減車に伴いハイブリッド率は基準年度より1.3ポイント減少したが、低燃費車への切り替えもあり減少幅は微減となった。</p>
第2年度	<p>○排出量：川崎市内におけるレンタカーの台数は減少したが、走行距離は前年同等。温室効果ガスの排出量は減少。</p> <p>○排出量原単位：ハイブリッド車の保有比率は前年同等だが、低燃費車の保有比率は上昇、排出量原単位削減につながった。</p>
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○推進体制の整備 事業活動温暖化対策責任者・推進者を任命し、温室効果ガス削減に向けた情報の共有を図る。 ○低公害車・低燃費車の導入 自動車の購入にあたり、ハイブリッド車等低公害車・低燃費を積極的に導入し、乗用車におけるハイブリッド車比率60%を目標とする。 ○自動車の適正走行 車両走行効率を向上させるナビゲーションシステム・ETC等を積極的に搭載する。 ○エコドライブの促進 従業員のみならず、レンタカーをご利用されるお客様にもエコドライブを積極的に呼びかける。</p>
<p>第1年度</p>	<p>○店舗内ポスター掲示し、レンタカーご利用者へのエコドライブの働きかけを実施。 ○ETC全車両設置。またETCカードをお持ちでないお客様に対してはETCカードのレンタルも行ってETC利用への促進を図っている ○従来の満タン貸出&満タン返却だけでなく、未満タン車両の貸し出し商品をハイブリッド車に設定(かるたん)。燃料代の精算も満タン返却でなく「平均燃費精算」を採用し、低燃費車へのご利用誘導やエコドライブの提案を実施。</p>
<p>第2年度</p>	<p>○店舗内ポスター掲示し、レンタカーご利用者へのエコドライブの働きかけを実施。 ○ETC全車両設置。またETCカードをお持ちでないお客様に対してはETCカードのレンタルも行ってETC利用への促進を図っている ○従来の満タン貸出&満タン返却だけでなく、未満タン車両の貸し出し商品をハイブリッド車に設定(かるたん)。燃料代の精算も満タン返却でなく「平均燃費精算」を採用し、低燃費車へのご利用誘導やエコドライブの提案を実施。</p>
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

イ (追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○神奈川県内の森林を守り緑化を推進する緑の募金に参加。 ○レンタカーご利用者へのエコドライブの呼びかけ。 ○顧客を招いてエコ安全セミナーを開催。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○神奈川県内の森林を守り緑化を推進する緑の募金に参加。 ○レンタカーご利用者へのエコドライブの呼びかけ。 ○法人顧客に対し、エコ安全運転座学会の開催。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○神奈川県内の森林を守り緑化を推進する緑の募金に参加。 ○レンタカーご利用者へのエコドライブの呼びかけ。 ○法人顧客に対し、エコ安全運転座学会の開催。 ○法人顧客に対しFCVやPHVを給電車として活用提案のセミナー実施。(追加実施)
第3年度	

7 基準年度からの温室効果ガスの排出の量等の推移（3号該当者等）

(1) 自動車に係る温室効果ガスの排出量等

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
温室効果ガス排出量	897 t-CO ₂	777 t-CO ₂	725 t-CO ₂	t-CO ₂
車両の台数	388 台	396 台	341 台	台

(2) 車両の内訳

ア 車両の種別

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
普通貨物自動車	2 台	2 台	2 台	台
小型貨物自動車	100 台	115 台	97 台	台
大型バス	台	台	台	台
マイクロバス	9 台	8 台	11 台	台
乗用自動車	277 台	271 台	231 台	台
特種自動車	台	台	台	台

イ 燃料の種別

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	最新年度 の比率
		台数	台数	台数	台数	
次世代自動車	電気自動車	台	台	台	台	- %
	プラグインハイブリッド自動車	台	台	台	台	- %
	ハイブリッド自動車	92 台	92 台	80 台	台	23.5 %
	燃料電池自動車	台	台	台	台	- %
	天然ガス自動車	台	台	台	台	- %
	その他	台	台	台	台	- %
低燃費車	ガソリン自動車 (上記を除く)	台	58 台	94 台	台	27.6 %
	ディーゼル自動車 (上記を除く)	台	台	7 台	台	2.1 %
	LPGガス車	台	台	台	台	- %
	その他(上記を除く)	台	台	台	台	- %
上記以外		296 台	246 台	160 台	台	46.9 %

※ 低燃費車とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき定められた燃費基準（トップランナー基準）を早期達成している自動車をいう。